

芹 沢 銈 介 美 術 工 芸 館

『生誕120年記念 デザイナー芹沢銈介の世界展』

2015年3月17日(火)～6月17日(水) (国見キャンパス2号館にて開催中)

型絵染の人間国宝、芹沢銈介(1895～1984年)は、柳宗悦との出会いをきっかけに民藝に触れ、生活雑器や伝統的な図柄の中から美しい形を見いだして作品を作りました。1956年(昭和31)、61歳のときに「型絵染」の技法で、重要無形文化財保持者(人間国宝)に指定されました。その斬新でモダンな作品は、屏風、のれん、着物から本の装丁に至るまで多岐にわたり、染色作家の枠を超えた自由奔放なデザイナーとしての羽ばたきが感じられます。文字をデザイン化した作品は、現代のグラフィックデザインにも大きな影響を与えています。

また、芹沢は晩年、アフリカや東南アジアの仮面、土器、木工品、布、朝鮮の民画、アイヌや江戸町火消しの装束など古美術や民藝品を約4500点収集していますが、いずれも見ものにもエネルギーを要求する強さをもっています。

本展は、デザインという視点から、第1部「デザイナー芹沢銈介～多様な造形表現」、第2部「芹沢銈介の目～収集した世界各国の美術・工芸品」の2部構成で代表作品約120点と収集品70点をご紹介します。そこに共通する芹沢の美意識と感性にせまります。東京・横浜・京都・大阪を巡回し、当館が最終会場となる展覧会です。どうぞお見逃しなく。

【関連事業】

- ・学芸員によるギャラリートーク(自由参加)

6/13(土) 各11:00～

- ・ワークショップ

「型 de あーと、布に染める」

会期中の毎週火・土曜日

受付 11:00～15:00

体験時間 約30分

材料費 400円(額付の場合1,400円)

【入館料】学生証の提示にて無料

【休館日】日曜 【開館時間】10:00～16:30

【問い合わせ】TEL022-717-3318

1Fのミュージアムショップや5Fの見晴らしの良いカフェもご利用ください。

【お知らせ】東口キャンパス1Fのギャラリーにて「芹沢銈介作品展」を開催しています。生誕120年記念展関連作品を含め約50点展示。



芹沢作品が並ぶ柳宗悦邸再現